

4 - (1) 体育指導法講習会

担当 犬童 耕平

1. はじめに

県中学校体育研究会では、体育指導者の資質向上を図るために、毎年、体育指導法講習会を開催している。今年度は、陸上クラブ「KURS」指導者の平野龍氏を招聘し、陸上競技に関わる指導法を提供した。短距離走の基本的な感覚づくりをはじめ、ハードル走や跳躍種目など専門性の高い内容における指導の留意点など、陸上経験者でなくても要点をおさえた指導ができるようにと、様々な場づくりや声掛けのポイントなどを学べる機会を提供しようと考えた。中学生の時期に必要な運動の種類や方法、指導法について理解するだけでなく、私たち体育教員自身が、実際に体を動かしながら、生徒の立場になって学べる時間にしようと考えた。

2. 講習会の概要

- (1) 期 日 令和4年7月28日(木)
- (2) 会 場 人吉市立第二中学校 体育館
- (3) 講習内容

指導者	平野 龍(ひらの りょう)氏	陸上クラブ『KURS』指導者
指導対象	熊本県中学校体育研究会会員(県下保健体育教師)	
講習内容	陸上競技 テーマ:「授業に生かせる陸上競技の動きづくり」 ①短距離走について ②ハードル走、走り高跳びについて ③質疑応答	



3. 受講者の感想

- 陸上競技の楽しさをたくさんの方法(メニュー)で感じることができて有意義だった。
- 専門外の種目を学ぶ良い機会となった。「なぜ」の部分がわかりやすかった。
- 講師の方から難しいことをシンプルに伝える「コツ」を学べた。

4. 終わりに

ハードル走や跳躍種目などの専門性が高い競技に苦手意識を感じている教員は多い。私たちが専門外の指導に悩みを抱く気持ちと同じように、運動が苦手な生徒も常に不安感をもって授業に参加しているのではないだろうか。今回の講習で、生徒が「やってみよう」と思える場づくり、ポイントをわかりやすくシンプルに伝える言葉かけについて学ぶことができた。生徒のやる気を引き出し、運動を通して楽しさや達成感を味わわせる授業を目指していくことが大切だと、改めて感じる講習会となった。